

# 総合学科としての 新たなスタート

校長 橋本義治



同窓会便り第二号の発刊おめでとうございます。また同窓会の皆様には、日頃本校教育の充実と発展のために温かいご支援をいただき誠に有難うございます。今年度は四年目という節目の再スタートをきりました。新しい校訓である

「温故知新・百錬成鉄」のもと生徒・職員そして支援していただく皆様方と一緒に、常に新しい学校づくりに努めて行きたいと考えていますので、どうか宜しくお願ひいたします。本校は五つの系列を持つ四クラの総合学科の学校としてスタートしましたが、平成二年度入学した。系列の授業や行事・部活動への影響を心配しましたが、生徒たちはその困難の中で先輩たち

の頑張りもあり、岩村町や明智町を拠点にし、知新会館における「学習合宿」や多くの高校を招いての「部活動合同合宿」、地域における演劇・演奏会などの活動をサポートしていただいている同窓会の皆さんのお陰と感謝しています。この一年間の生徒は、部活動において、スケート部はインターハイ・国体に出場、陸上部は八百m、四百mハードル、三千m障害、三段とびで東海大会に出場、ギターマンドリン部は県で優秀賞を獲得し東海大会に出場するなど素晴らしい結果を出しています。その他

の部も日頃の練習の成果を十分出し切った地区や県大会で活躍しています。また生徒の地域における活躍も多く見られました。「ベンチャービジネス」科目選択者は新たな取り組みとして、大正村の施設を回るスタンプラリーを考案し実施しました。ここに紹介させていただいたのは、生徒の活動の一部に過ぎませんが、今後も生徒たちに、何事も「チャレンジ精神」を持って高

校生活を送ってくださることを訴え、励まして行きたいと考えています。皆様方には、今後ともご支援とご協力を宜しくお願いいたします。同窓会としても生徒への支援活動をしています。勉強やスポーツで頑張っている生徒への奨励として、毎年三名に同窓会表彰の記念品を贈っています。また各部活動で、全国大会等出場の際はその遠征費の一部の援助を実施しています。これからも今までと同様、同窓会としてできる限りの支援をしていきたいと考えていますので、会員の皆様にもご支援ご協力を賜りますようお願いいたします。恵那南高校の発展は、恵南地域の望みでもあり、そのためにも会員の皆様のご支援の基に、同窓会も精一杯取り組んで行かねばと思っておりますのでよろしくお願ひします。



## 同窓会も発足四年

同窓会長 勝 正憲

新しく恵那南高等学校同窓会が発足し既に四年目を迎えました。この間、生徒たちも両校の伝統を引き継ぎ、新しい校風を育てています。私も高校へ訪問するたび、生徒たちが目標に向かって邁進している姿を見ることができ、頼もしくまたうれしく感じています。念願でありました恵那南高等

学校の校歌が完成しました。校歌の制作は、岩村高等学校の卒業生でもあります後藤健二先生にお願いをしました。明智町及び恵那南地区の風景を織り込んだ歌詞となっています。校歌の発表会には私も出席し、生徒が合唱するのを聞きました。すぐに口ずさめそうな覚えやすい校歌となりました。

生徒たちはさまざまな部活動でも頑張っています。たとえば岩村高校の伝統を受けついで発足した硬式野球部は監督の指導のもと、毎日猛練習に明け暮れています。吹奏楽部の活躍につきましても目を見張るものがあります。高校内での活動だけでなく、恵那市内、

明智町内の各イベントにはすべて参加の依頼があり、すばらしい演奏を披露しています。今ではお客様が「次の演奏はいつか」と楽しみに待っている存在になっています。また、生徒たちには、地元の方

とのふれあいの場が沢山あり、ボランティア活動も積極的に行われています。奉仕の心、感謝の心を持って地域の方々と交流ができる。これは生徒たちにとっても貴重な体験ですので応援をしていきたいと考えています。同窓会としても生徒への支援活動をしています。勉強やスポーツで頑張っている生徒への奨励として、毎年三名に同窓会表彰の記念品を贈っています。また各部活動で、全国大会等出場の際はその遠征費の一部の援助を実施しています。これからも今までと同様、同窓会としてできる限りの支援をしていきたいと考えていますので、会員の皆様にもご支援ご協力を賜りますようお願いいたします。恵那南高校の発展は、恵南地域の望みでもあり、そのためにも会員の皆様のご支援の基に、同窓会も精一杯取り組んで行かねばと思っておりますのでよろしくお願ひします。

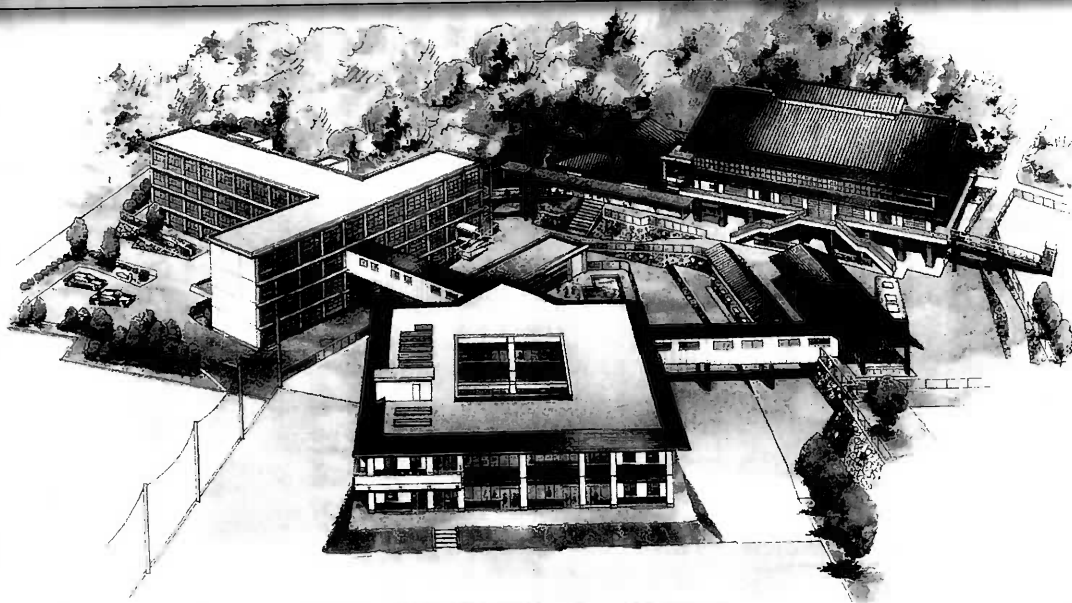


発行 恵那南高等学校同窓会  
〒509-7793  
恵那市明智町41-2  
http://school.gifu-net.ed.jp/enaminami-hs/  
TEL (0573) 54-2537  
FAX (0573) 54-2537  
印刷・デザイン 株式会社サラト

### 会費納入のお願い

平素は本会の活動にご支援いただきありがとうございます。さて、同窓会活動を支える経費は、入会金と会員の皆様からの会費を財源としております。しかしながら、生徒減少にともなう入会金の減少をはじめとし、収入は不足しております。逆に、この会報発行だけでも百五十万円を要し、非常に厳しい財政状態となっております。同封の振込用紙を利用していただき、ぜひ会費を納入していただきませうご協力をお願いいたします。なお、郵便局では窓口より機械での振り込みの方が手数料がお安くありますので、ぜひ機械でお願いいたします。また、今号は、同一世帯と思われる同窓生へは一部のみ送付させていただきます。ご容赦下さい。

# 岩村校舎が生まれ変わりました



岩村高校が恵那南高校岩村校舎となり、閉校舎式から一年後、その校舎を改築利用し、恵那特別支援学校が開校しました。

恵那特別支援学校

校長 野尻芳生

平成二十二年三月に恵那南高校岩村校舎が閉じられてから半年後、恵那特別支援学校の一括移転に向けた新築及び改築工事が急ピッチで行われ、翌年（平成二十二年）の四月九日には、移転開校式を無事に挙行することができました。

移転開校式では、岩村地域住民一同様より「ようこそ岩村へ、春風を以て人に接す」の旗を賜ったり、岩村中学校の皆さんからは、歌で歓迎していただくなど、岩村町の皆さんの暖かい気持ちに感動いたしました。私事ですが、昭和四九年四月に、まだ木造の校舎が一棟だけ残っている岩村高校に、新任教員として赴任し、同僚の先生や地域の方々、そして生徒から、教員としての在り方や

生き方を学ぶことができ、私にとって、かけがえない学校となりました。それから三六年后、教員生活の締めくくりに、恵那特別支援学校の教員として、この懐かしい地に再び勤めさせていただくことに、大きな「ご縁」を感じ、うれしく思います。

北校舎は撤去され「ふれあい農園」に、そして再利用された二棟の校舎も全面改修され、新たにグラウンドに二階建ての校舎やプール棟も新築されるなど、外観上は往事の面影を探すのに苦労するほどの変わりようですが、残されている植栽や石垣、門柱等のそこかしこに、岩村高校の伝統の重みを感じることができます。

本校は、昨年までの五三年間、病弱の子供たちを対象とした養護学校（特別支援学校）でしたが、県教育委員会が策定された「子どもがやきプラン」により、病弱に加え、知

的障がいと肢体不自由の児童生徒を対象とした、総合的な特別支援学校として生まれ変わりました。現在、児童生徒数は一一四名（小学部四五名、中学部三七名、高等部三二名）で、昨年度より三〇名ほど増加しており、二年後には、約一五〇名になると思われます。

本校の教育方針の大きな柱は「一人一人の輝きを求めて」です。今後は、岩村高校の校訓「温故知新」の不易の部分を生かしながら、児童生徒の「輝く姿」を目指し努力するつもりです。また、本校は、地域の特別支援教育のセンターの機能を發揮する学校として、信頼される存在となるよう努めていく所存です。

最後になりましたが、本校児童生徒に対する、ご支援とご協力をお願いするとともに、恵那南高校同窓会のみますますのご発展を祈念申し上げます。

## 恵那特別支援学校 祝移転開校式



地域の方から歓迎の旗をいただく



体育館一階から見た校舎



北校舎跡地は畑に

明智商業高校と岩村高校が統合し、四年が過ぎようとしています。統合前、深い歴史を持つ岩村町と地の利のある明智町との間で、両町の人たちも、高校自体も互いに苦しみました。私たち教員仲間でも小中高の校長会で何度も話し合いを持ち、町村長会に要望書を出したこともありました。

そんな中での統合が終わり、恵那南高校として歩み始めたとき、私のもとへ校歌作成の依頼がありました。統合のいきさつを知っていた私は辛い気持ちに先に立ち、一度は断りました。しかし、よく考えてみると、外部の方に依頼すれば、恵那南高校を歌い上げることができて、恵南全体の誇りや統合時のさまざまな思いを歌い込むことはできないだろうかと考え、僥倖ながら承諾した次第です。

さて、歌詞についてご説明いたします。一番、明智は桔梗が紋所であることから、それに「はな」とかなを振りました。恵那市の一番南の大きな町ですので「南都」とたとえました。明智駅の正面の八王子神社奥から西方、大正ロマン館にかけてが白鷹城址です。つまりそれが明智町のシンボルですから、「そこに集う子どもたち」を歌詞にしました。

その後の英文は、岩村藩出身の儒学者佐藤一斎の心を置き換えたもので、私が子どもたちにもっとも伝えたかったものです。佐藤一斎の「三学戒」すなわち「少にして学べば即ち壮にして為すことあ

り、壮にして学べば即ち老いて衰えず、老いて学べば即ち死して朽ちず」を「人生において無駄なこととは何もないよ、みんな頑張れ」と読み替え、佐藤一斎顕彰会にご指導いただき英文にしました。

二番、私には幼いときの上村の山川の美しい思い出があります。今はその水が矢作ダムとして上矢作・串原二町村の大きな湖となっ



後藤 健二  
(昭33年岩村普通科卒)  
校歌作成にあたって

ています。そこでその二町村を最初の一行に表現しました。

岩村町は佐藤一斎・下田歌子・三好学など日本を代表する教育者が出たところです。それを誇りに思い、その心を歌い継いでくれるようにと岩村のシンボルの「霧が城址」を歌い込みました。山岡町は岩村藩の米どころとして栄えてきました。今も豊かな稲

穂が風に揺れています。それを一節としました。

メロディは「簡単に覚えやすく、しかも気品があること」を条件として考えました。一度聞いた心に入り、口ずさむことができることが大切だと思いました。そこで長調四拍子を選びました。(ちなみに、岩村高校校歌「霞に明くる」は三拍子です。これは優しさと温かさを表します。たぶん、女学校だったからでしょう。また、明智商業高校校歌「白鷹城址霧晴れて」は短調でした。哀愁があり、とてもきれいな曲です) 歌っていくうちに力強さが出てくると感じたからです。また、最後の二行は一音高く転調し、特に力強く歌い上げられるよう配慮しました。

卒業式を間近にした二月二六日、校歌発表会がおこなわれました。私も子どもたちに歌詞や曲の解説をした後、指揮をとらせていただきました。ステージではバスケット部・野球部・バレー部の生徒たちが胸を張り、目を輝かせて素晴らしい校歌披露してくれました。生徒全員での斉唱も素晴らしいものでした。あの輝きを私も忘れませんし、子どもたちにも一生持ち続けてほしいと心から念じました。

後藤先生プロフィール  
昭和三十三年岩村高校普通科卒。岩村高校と明智商業高校を兼務。岩高ではブラスバンド部、明智商ではギター・マンドリン部を創設。小中学校の校長を歴任。山岡町在住。

岐阜県立恵那南高等学校

校歌



後藤 健二 作詞・作曲  
大沼 智 幸 編曲

一 桔梗咲き乱るる 南都の丘陵  
白鷹城址に 集う我ら  
真理の道を 学びて究めん  
Nothing in life is worthless  
友よ果てしない 未来に向かつて  
永劫の友垣を 築きつづけよう

二 山峡流るる 矢作の清流  
霧が城址を 讃う我ら  
豊かな稲穂に 微笑て語らん  
Nothing in life is worthless  
君よ輝ける 未来を目指して  
思籠の扉を 拓きつづけよう  
同輩よすばらしい 未来を夢見て  
南高の業跡を 創造りつづけよう

校歌を聞くことができます

新しく完成した恵那南高等学校校歌をインターネットで聞くことができます。恵那南高校のホームページ入り口 (<http://school.gifu-net.ed.jp/enaminami-hs/>) から入っていただき、校歌のページへお進みください。右下のplayボタンをクリックすると校歌が流れます。

入学して間もなく新入生は全員体育館に集められました。上級生による校歌、壮行歌の指導です。上級生三、四名が壇上で校旗を全身で振りかざし、新入生の周りを

して上級生の手荒であるが愛情のこもった？歓迎を受けて、上級生に対する畏敬の念と共に妙な連帯感も生まれ、岩高生としての一歩を踏み出したものです。昭和三二



岩松 耕司 (昭35年 岩村普通科卒)

### はだれの峰の朝ぼらけ…♪

竹の棒を持った上級生が取り囲み、歌う声が少しばかり小さくならうものなら竹の棒で床を打ちたたき音と共に「声が小さい！」と叱咤の音が飛び交いました。こう

年、春爛漫の日のことでした。岩村高校の周囲は岩高生にとつて憩い語らう場所としてもつてこの自然環境で、あるときは城山に登り、あるときは乗政寺山の頂

から眼下に町並みを見下ろし、友と語り合った情景が心に浮かびます。下田歌子先生もみておられたことでしょうか、数々の岩高生の淡いロマンがここで芽生えたこと

けな少年(?)の胸は高鳴ったものです。握った手のぬくもりが今も伝わってきます。岩村の文教の象徴、知新館の「知新」には、知識の習得も大事ではあるが、新しいものを自らの手で作り出す創造力の養成こそ

私にとつての甘酸っぱい思い出は、「オクラホマミキサー」の曲に乗って、女子の手をとり踊る体育祭でのフォークダンスです。女子に話しかけることすらはばかられた時代に、一年に一度、誰はばかることなく女子の手に触れることのできた機会だったのです。この年になったからこそ言えることですが、秘かに憧れていた女子の手に触れたときには、いたい

この知新館のDNAが新しく統合された恵那那高校にも引き継がれていくことを望んでやみません。岩高の灯は私たちの心の中に灯り続けることでしょう。

明智高等学校を卒業して四八年となりました。高校へ入学するまでは、足も遅くスポーツは大の苦手でしたが、高校へ入学し何か自分に合った運動部に入ろうと決意

えていただき、柔道とはこのようなものかと最初に最後の柔道をしたことも思い出です。小中学校とは違い明智町以外の地区の人とも友達になり、それぞ



山田 公平 (昭38年 明智商業科卒)

### 明智高校に感謝

して女生徒もいる軟式テニス部に入学しました。当初は出来るか不安でしたが、だんだん面白くなり部活が楽しみの一つとなりました。また、体育の時間に柔道を教

れの家に行ったり来たりして、彼女のこと部活のことなどいろいろなことを語り合ったことや、体育祭でのフォークダンスで女生徒と手をつないだこと、修学旅行での

旅館で夜騒いだことなどが懐かしく思い出されます。わたくし事ですが、入学した年に義兄が先生として赴任してきたため、これは大変なことになった、あまり悪いこともせずおとなしい生徒ぶりをしなくてはならない、早く転動をしてほしいとの期待もありましたがそううまくはいきませんでした。高校三年間は非常におとなしい子に徹しました。

三年生になり今後の進路も考えなくてはならず、今では大学大学といいますが、本人もその気はなく、とりあえず国家公務員試験を受験しようと思いい倍率の低い税務職を受験しました。合格発表は三

月でしたが卒業しても発表まで日があり名古屋の貿易会社へ就職することにし布団を抱え一週間ほど貿易会社で働きました。すると公務員税務職の合格通知が来たため貿易会社を辞め公務員の道を進むことになりました。就職を斡旋していただいた先生及び貿易会社には非常にご迷惑をかけました。

今から考えると、国税局・税務署を転々と転勤し、定年まで勤めることができたのは、明智高等学校に入学し、たくさんのお恩師・友達と出会いいろいろな教えをいただいたおかげと感謝しています。

## 2011年は大正百年

「大正村 大正百年祭」

昭和五九年「日本大正村」が誕生し町興しが始まりまし

た。マスコミが取り上げてくれたおかげで多数の観光客が大正村へ訪れ町もにぎわいがあり、来年は大正元年から百年目を迎えるため、大正百年祭を実施します。

大正百年祭を地域が一丸となつたまちづくりととらえ、この地の歴史文化を学び、地域の絆・人と人との絆を取り戻し子どもからお年寄りまで一緒に盛上げて今年後の明智町につなげていきたいと思ひます。

今年七月には「大正百年祭総決起大会」を行い、かえでホールからロマン亭前まで、子どもからお年寄りまで多くの人の参加を得て提灯行列を実施しました。また、十一月には「大正文化祭」を実施します。来年には今まで行っている行事のほか、七月三〇日、三十一日に大正改元祝賀会、十一月には大正百年村民大祝賀会を予定しています。皆さんのご協力・ご参加をよろしく願ひします。



# 明知線 各駅停車



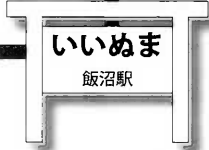
駅舎が昔の大井駅・恵那駅とは大きく変わっています。最近も駅前広場の改装がおこなわれたばかりです。明知鉄道の乗降口は右奥にあります。



平成20年12月に高齢者複合福祉施設の一部に組み込まれる形で改築されました。以前の面影は全くありません。



建物自体は昔のままですが、左には歯科医院が併設され、駅と一体となり、明知鉄道利用者には便利になっています。



平成3年10月に開業した比較的新しい無人駅です。1,000分の33という日本一の急勾配地に作られています。



「日本一の農村風景」をキャッチフレーズにしている岩村町富田地区に近い無人駅です。駅舎は昔と変わりません。



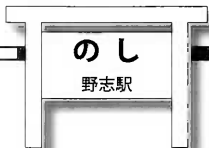
平成20年12月開業した明知鉄道でもっとも新しい駅です。駅名は昔この地にあったお寺の名前に由来しています。



昭和42年11月、まだ国鉄明知線だった時代に開業しました。駅舎は今も以前と同じ風情で建っています。



以前は多くの岩村高校生が利用していましたが現在はその姿もなく寂しくなりました。昔のままの駅舎を訪ねて観光客が訪れ、信号てこを操作して、腕木式信号機を体験する姿もみられます。



平成6年12月開業。新しいホームとベンチが利用客を迎えてくれます。飯沼駅の勾配が日本一ですが、二番目はこの野志駅です。



大正村の玄関口として、きれいに整備されていますが駅舎の建物も昔のままです。恵那南高校の生徒たちが毎日利用しています。



最近まで駅舎の一角でそろばん塾が開かれていましたが、6月をもって閉鎖、子どもたちの声も聞こえなくなりました。塗り替えられてはいますが、建物自体は昔のままです。



岩村高校、明智商業高校へ通学する多くの同窓生が利用していた国鉄明知線。昭和六〇年十一月に第三セクターの明知鉄道として生まれ変わりました。恵那の地を離れておられる卒業生の皆様方に、旧明知線の駅は現在はどうなっているかをお見せしたいと思えます。以前のままのたたずまいを残している駅もあれば、大きく様変わりした駅、さらには最近できた駅もあります。青春時代を思い出していただければと思います。(上段写真は現在、下段は昭和四〇年代の駅舎)

Topics

# 恵那南高校トピックス

二校が統合し「恵那南高校」となつてから早くも四年目を迎えました。

同窓生の皆様にとつては、全く新しい高校になつてしまつたように感じられるかもしれませんが、生徒・教職員ともども、岩村・明智両校の伝統を活かした学校にするべく努力いたしております。

校訓も岩村高校の「温故知新」と明智商業高校の「百錬成鉄」を受け継ぎ、その二つをもに校訓といたしました。

昨年度末には、総合学科の一期生が卒業しました。卒業式にはぜひ新しい校歌を大きな声で歌わせてあげたいとの願いから、卒業式に先立つ二月二十六日午後、校歌発表会をおこないました。作詞作曲の後藤先生をお招きし、「校歌に託す思い」と題した講演をうかがつた後、野球部・バレー部・男子バスケット部による校歌発表、ギター・マンドリン部・吹奏楽部による演奏、全員での合唱などをおこないました。(後藤先生の校歌作成にあつたの思いは三頁に掲載してあります。インターネットで聞くこともできます)翌日の新聞にも大きく取り上げられました。

## 吹奏楽・ギター・マンドリン部 合同ファーストコンサート

三月二二日(月)明智町かえでホールにて、ギター・マンドリン部と吹奏楽部の合同開催によるファーストコンサートを開催しました。会場には地元の方を始め、本校生徒や中学生など二八〇人を超す聴衆が入場し、暖かい雰囲気の中で始まりました。第一部は吹奏楽部、そしてギター・マンドリン部による第二部、最後に第三部としてパフォーマンスを交えた吹奏楽部の演奏で幕を閉じました。すばらしいコンサートはたいへん好評でした。



吹奏楽部



ギター・マンドリン部

## ちよっとおんさい祭で

### ボランティア

五月三〜五日、明智町では「ちよっとおんさい祭」が開催され、県内外から多くの観光客が訪れました。今年で二三回となるこの祭も、多くのボランティアの手で運営されていますが、本校生徒も生徒会執行部・福祉委員・野球部・地域振興部・ギター・マンドリン部・吹奏楽部・ベンチャービジネス授業選択者などが中心となり、なくてはならない存在としてさまざまな形で祭を盛り上げるのに協力しました。

所用で学校を訪問された地域の方から、祭での活躍にお褒めの言葉をいただきました。



大正娘に扮して

## 福祉保育系列 小学校で読み聞かせ

五月二二日(金) 始業前に三年次生福祉保育系列D組の生徒が明智小学校へ行き、小学校の子どもたちに本の読み聞かせをおこないました。

# 平成21年度 卒業生の進路

平成22年3月31日現在

### 就職内定先

地区	所在地	企業名	男	女
県外	名古屋市	東海旅客鉄道(株)(JR東海)	1	
		眼科三宅病院		2
		㈱札幌かに本家	1	
		敷島製パン(株)		1
	豊田市	トヨタ自動車(株)	1	1
		林テレンプ(株)	1	
		東洋ソフラン(株)	1	
		旭工業(株)	2	
	多治見市	エーシー工業(株)	1	
		㈱都筑		1
		㈱MAMBO	1	1
		名見開発(株)(小原カントリー)	1	
	刈谷市	㈱デンソー	1	
		㈱K&I		1
津島市	養津屋(ヨシツヤ)		1	
	ナフコ(株)不二屋	1		
春日井市	㈱サンデリカ	1		
	福岡県	イワイスポーツサイクル	1	
東濃地区(地元)	恵那市	㈱十六銀行		1
		東美濃農業協同組合		2
	多治見市	明知ガイシ(株)	1	
		明智セラミックス(株)	1	
		明光化成工業	2	
		㈱明智ゴルフ倶楽部	1	1
		㈱栄特殊印刷工業(株)		2
		日本バルコン(株)	1	
		アイカ電子(株)	1	
		本多金属工業(株)	1	
合計		39	26	

### 進学・合格先

地区	所在地	企業名	男	女
東濃地区(地元)	恵那市	恵那東海理(株)	1	1
		瑞陵精機(株)		1
		㈱トーキンシステム	1	
		ダイキャスト東和産業(株)		1
		東邦パック(株)	1	
		社会福祉法人 恵和会		1
		良平堂	1	
		南美ショウ	1	
		恵南森林組合	1	
		㈱双立	1	
	中津川市	㈱アマール	1	
		山岡トレセン	1	
		トーシツク(株)	1	
		㈱愛工機器製作所	2	
	瑞浪市	㈱サラダコスモ	1	
		㈱新祥堂	1	
		㈱中央ユニオン	1	
		小田陶器(株)	1	
	土岐市	瑞陵ゴルフ倶楽部		1
		特養みずなみ瀬戸の里		1
ムライ機器(株)			1	
高砂工業(株)		1		
聖十字病院			1	
平成観光(株)			1	
多治見市	中部興産(株)	2		
	㈱ポップス(イロ-ハット)		1	
合計		39	26	

種別	学校名	男	女
四年制大学	【公立】		
	岐阜大学		1
	愛知大学	1	
	愛知学院大学	2	
	愛知工業大学	1	
	大阪学院大学	1	
	大阪国際大学	1	1
	岐阜聖徳学園大学	1	
	創価大学		1
	大同大学	2	
	中央大学	1	
	中部大学	2	
	中部学院大学	2	
	東海学院大学	1	
名古屋商科大学	1		
日本福祉大学	1		
松本大学	1		
短期大学	【公立】		
	岐阜市立女子短期大学		1
	【私立】		
	中京短期大学		5
	中部学院大学短期大学部	1	
	中日本自動車短期大学	3	
	名古屋経済大学短期大学部	2	
	名古屋短期大学	1	
	名古屋女子短期大学	1	
	南山短期大学		2

種別	学校名	男	女
専門学校	【公立】		
	県立下呂看護専門学校		1
	県立多治見看護専門学校		1
	県立愛知看護専門学校		1
	加茂看護専門学校		1
	JA岐阜厚生連看護専門学校		1
	中部労災看護専門学校		1
	土岐医師会看護専門学校	1	
	【その他】		
	愛知調理専門学校	1	2
	朝日大学歯科衛生士専門学校		1
	EPSミュージカルアカデミー		1
	大原法律公務員専門学校	1	
	国際医療管理専門学校	1	
	国際観光専門学校		1
	国際製菓技術専門学校	1	
	総合学園ヒューマンアカデミー	1	
	中部美容専門学校		1
	東京IT会計専門学校	2	
名古屋医療秘書福祉専門学校		2	
名古屋観光専門学校		1	
名古屋調理専門学校		1	
名古屋ビジュアルアーツ	1	1	
名古屋ビューティーアート		1	
名古屋美容専門学校	1		
名古屋ソフト&スポーツ専門学校		1	
HAL名古屋校	1		
日本デザイナー学院		1	

福祉保育系列では、保育検定での資格取得を目指し、授業で外部講師を招いて読み聞かせの学習をしています。その学習の成果を発表し、また、保育士を目指す生徒が、子どもを理解する機会とする目的でおこなっている行事です。

2年次生福祉保育系列C組の生徒も見学し、来年度に向け勉強しました。

参加した生徒からは、「静かに聞いてくれた。また、読みに行きたい」などの感想がありました。



### 一年次生と 中学の恩師が懇談

六月十五日午後、一年次生の出身中学校の先生を招いて「中高連絡会」を開催しました。



五限の授業を見学していただいた

## 必ず戻って来ます

岐阜大学教育学部 加藤 和子

私は恵那南高校で充実した高校生活を送り、現在岐阜大学に在学しています。多くの素晴らしい人材を輩出してきた岩村高校・明智商業高校・両校の誇りを胸に、日々勉学に精進しています。

恵那南高校最初の総合学科卒業生として、センター試験や二次試験受験は初の試みでしたが、先生方、先輩方、保護者の皆様の協力のもと岐阜大学教育学部に合格することができました。私の人生の大きな一歩を踏み出す後押しをしてくださった皆様

には感謝の気持ちでいっぱいです。現在、教師になるという夢をかかな

えるべく頑張っています。前期には岐阜大学付属小学校・中学校へ赴き、実際の教育現場を肌で感じてきました。あこがれや夢だけではつと

まらない職なのだと思いましたが、私を支えてくださった先生方のようになりたいという強い思いを忘れることなく、四年間の大学生活を過ごし、いつの日か恵那南高校に教師として戻ってきたと思います。

後、六限は各中学校に分かれ、それぞれの恩師と高校入学後の生活や、現在の思いなどを懇談しました。生徒からは、「久しぶりに中学校の先生と話ができて楽しかった」という声が多く聞かれました。また、恩師の先生方からは、「中学生の時には見られなかった活発な姿を見られて驚きました」「落ち着いた授業がおこなわれていて安心しました」などの感想をいただきました。

### 小中高合同で あいさつ運動

七月六日～八日の三日間、本校からの呼びかけで、明智中学校・明智小学校・吉田小学校と本校の四校が合同で朝のあいさつ運動を実施しました。各校とも生徒会・児童会の役員が参加してくれました。

明智小学校校門前では明智小・中・本校の三校が、吉田小学校前では吉田小と本校の生徒さらには地域の方も参加していただき、登校してくる児童生徒に「おはよう」と大きな声であいさつしました。



### 進学系列 学習合宿で頑張る

八月三日～五日、同窓会館（知新

会館）を会場に一、二、三年次の進学系列の生徒三〇名が参加し、学習合宿をおこないました。この合宿は「家庭学習の習慣を定着させる」ことを目的に、本校としては今年初めて実施したものです。

午前九時から昼食をはさんで九〇分の自習を四コマ、夕食後には午後一〇時四十五分までまた二コマと、一日の学習は九〇分×六コマの合計九時間におよびました。食事・風呂・宿泊は近く

の旅館にお世話になり、たいへん快適に充実した時間を過ごすことができました。



### 安藤真理先生 全国大会優勝

八月七～八日、香川県琴平町でおこなわれた「第四一回全日本教職員弓道選手権大会」において本校弓道部の顧問の安藤真理先生が女子個人戦で優勝、一員として参加した岐阜県チームも準優勝とみごとな成績をおさめました。



安藤先生は普段は「保健室の先生」として生徒の健

康管理に気を配っておられますが、弓道部の顧問としても熱心に生徒を指導しておられます。また、個人としても鍛錬を欠かさず、今回の成績につながられました。

### 「恵鷹新聞」寄贈

旧職員で現在京都府に在住されておられる藤原良香様より昭和二十七年から二十八年にかけてに発行された「恵鷹新聞」を寄贈していただきました。

「恵鷹新聞」は恵那南高校新聞部が発行していたもので、内容は多岐にわたっています。初代校長加藤亮一先生の「第一期卒業生に贈ることば」をはじめ、当時話題になっていた「漢文科復活」に関して識者からいただいたアンケートの返信などは実に読み応えのあるものです。

非常に貴重なものですので、学校で大切に保管させていただきます。



## 恵那南高等学校同窓会役員

役職名	地区(旧同窓会)	役員氏名(卒業年、学科)
会長 1	(明智)	勝 正憲(昭和38商)
副会長 9	岩村地区 2 (岩村)	市岡 勝男(昭和35農) 鈴木 義昭(昭和39農)
	明智地区 2 (明智)	安藤 勉(昭和41商) 堀 恒夫(昭和45商)
	山岡地区 (岩村)	度会 敏彦(昭和39普)
	上矢作地区 (岩村)	荒田 雅晴(昭和44普)
	恵那地区 (明智)	松原 淑明(昭和48商)
	中津川地区 (岩村)	渡辺 和義(昭和35普)
	瑞浪地区 (明智)	伊藤 照雄(昭和43商)
会計 1	(岩村)	服部 香(昭和62普)
理事 14	岩村地区 (岩村)	三輪 哲司(昭和43農)
	(明智)	堀 高久(昭和44商)
	明智地区 (岩村)	安藤あや子(昭和41普)
	(明智)	三宅 武利(昭和51商)
	山岡地区 (岩村)	大庭 脩代(昭和38普)
	(明智)	佐々木淳二(昭和60商)
	上矢作地区 (岩村)	小木曾紀元(昭和38普)
	(明智)	鈴木 巧(昭和53商)
恵那地区 (岩村)	小林 良平(昭和43農)	
(明智)	古里 芳伸(昭和54商)	
中津川地区 (岩村)	安藤 孝義(昭和41普)	
(明智)	吉田あけみ(昭和48事)	
瑞浪地区 (岩村)	山野井 清(平成4普)	
(明智)	中村みはる(昭和61商)	
監査 2	(岩村)	河田 清文(昭和37農)
(明智)	梅村 吾三(昭和38商)	
顧問		橋本 義治(学校長)
相談役	(岩村)	西久保成樹(昭和34商)
(明智)	小松 房行(昭和37商)	
事務局	事務局 長	奥村 直之

## 第三回同窓会総会を開催

平成二二年六月二十六日(土) 十五時より、岩村知新會館において第三回同窓会総会を開催しました。同窓会役員を中心に一般会員の参加も得て、無事に終了しました。

今年度の予算案、事業計画案をそれぞれ承認しました。

また、総会終了後、「岩村山荘」にて懇親会を行いました。

総会は毎年六月の第四土曜に開催する申し合わせになっております。岩村町と明智町で交互におこないますので来年は六月二十五日(土)に明智町で開催する予定です。多くの会員の皆様の出席をお待ちしております。



### 関東支部だより

関東支部長 中根 昇

本年五月、第九回関東支部総会を、橋本顧問・西久保相談役をお迎えしホテルニューオータニで恵那南高校の新しい校歌を聞きながら開催しました。会員一〇名のうち、二三名の出席でした。岩村高校・恵那南高校の現況をうかがい、生まれ変わった母校が多方面で貢献し始めていることに大いに期待を抱きました。

関東支部の今後の活動は、会員の高齢化や役員



の常態化、それにもまして新規会員の受け入れもことから不安感が大きく、現状維持も難しく衰退傾向にあります。同窓会だよりを拜見しても、新たな卒業生は地元近郊に進学・就職しているようで、関東地方へ進む生徒はほとんどない現状では、今後も多くは望めず、残念ながら支部活動も検討せざるを得ない事態となっています。

それでも同好会・友好会などといった形で今後も絆を保っていただけることを期待しています。

## 平成22年度恵那南高等学校同窓会収支予算書

(平成22年4月1日~平成23年3月31日)

(収入の部)		(単位:円)
項目	22年度予算額	摘要
繰越金	2,716,624	
入会金	1,280,000	5,000円×129名(平成21年度卒業生分) 5,000円×127名(平成22年度卒業生分)
年会費	1,500,000	
負担金	0	
繰入金	0	
雑収入	1,376	預金利息
合計	5,498,000	

(支出の部)		(単位:円)
項目	22年度予算額	摘要
管理運営費	376,000	
支部補助金	50,000	関東支部への補助金
旅費	80,000	
会議費	76,000	
消耗品費	50,000	
通信費	120,000	
会報発行費	1,500,000	
生徒報奨金	30,000	10,000円×3人
慶弔費	50,000	
予備費	3,542,000	
合計	5,498,000	

予算の流用については会長の専決による

### 同窓会名簿 残部あとわずか

岩村高校卒業生と明智商業高校卒業生を網羅し平成二一年四月に発行した同窓会名簿がわずかですが学校に残っています。購入を希望される方は名簿代金四千五百円+送料五百円の合計五千円を現金書留で学校同窓会係までお送りください。

なお、その際同窓生ご本人であることを証明できる運転免許証や保険証のコピーを同封してください。お手数をおかけしますが、個人情報を守る観点からご理解いただきますようお願いいたします。